観光は平和へのパスポート
国連世界観光年宣言

JHSたより

平成27年11月25日（15,000部）発行
2015.11 Vol.55

学校法人日本ホテル学院
発行所／専門学校日本ホテルスクール
一般財団法人 日本ホテル教育センター
〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号　TEL.03-3360-8231（代）
http://www.jhs.ac.jp　http://www.jec-jp.org/　FAX.03-3360-8584

文部科学省委託事業「観光分野の第三者評価システムの構築」

その成果をモデル事業として全国の職業教育水準の向上へ

第三者評価会議風景

昨年3月末、本校の昼間部国際ホテル学科2年制が、文部科学省が推進する職業実践専門課程の認定を受けました。これは、高等教育における職業実践的な教育に特化した新たな枠組みづくりの先導的試行として、初年度、専門学校全体の17%がこの文科大臣認可を受けています。（2年目の27年2月17日現在で、25%が認定）

これに続いて、今年度は、同省から「職業実践専門課程の観光分野に係る第三者評価システムの構築」を委託されました。この事業は、専門学校、企業・団体、有識者等でコンソーシアムを構成し、観光専門課程分野の第三者評価システムを構築、そして、その成果をモデル事業として、全国の専修学校における実践的な職業教育の水準向上につなげることを目的としています。

このシステム構築に際しては、学校法人髙村育成会・国際デュアルビジネス専門学校／高野和夫専務理事、東京YMCA国際ホテル専門学校／小畑貴裕校長、専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ／椎葉小夜子校長、国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校／矢口博士教務就職室長、㈱西武ホールディングス／國吉宣弘グループ人材開発室アシスタントマネージャー、ザ・プリンスパークタワー・東京プリンスホテル／川島亜希子人事部管理マネージャー、㈱マーケティング・ボイス／鶴本浩司代表取締役、吉冨泰利税理士事務所／吉冨泰利所長、一般財団法人日本ホテル教育センター／大堀貴弘統括本部長、㈱ビーアライブ／吉田典子取締役、全国語学ビジネス観光教育協会／渡辺淳事務局長の皆様に、委員としてご協力を頂いております。

こうした文科省の動きは、産・官・学の連携により、実践的な高等教育機関である専修学校における職業教育の品質向上を奨励、推進するものです。本校が、観光分野を代表する専門学校として本事業の委託を受けることは、大変な作業ではありますが、大変名誉なことでもあります。大儀に立って関係者と協力・連携しながら進めてまいります。

創立45周年記念式典 2016年11月11日に決定

校長　石塚 勉

早いもので、来年、1971年本校の前身プリンスホテルスクールを創立してから45周年、財団を設立してから40周年を迎えます。来春には全卒業生数も11,817名となる見込みです。

本校では1991年の創立20周年以降、周年行事として同窓会を5年に1回開催しており、創立45周年記念行事では卒業生及び関係者を含めて1,500名強の参加者を見込み、第11回全体同窓会／創立記念式典を盛大に執り行いたいと考えております。

開催は、2016年11月11日（金）、グランドプリンスホテル新高輪、「飛天」と決定しました。因みに、2011年の創立40周年には、東京オペラシティコンサートホールでの音楽会に在校生及び業界関係者1,350名、そしてグランドプリンスホテル新高輪「飛天」での同窓会に卒業生及びその家族、学校関係者等1,100名の規模で、二回のイベントを開催しました。おかげさまで、何れも素晴らしい会となりました。

来年の式典に際しては、学内に実行委員会を設置、同窓会幹部会、そして各学年各クラスから選任された理事約300名の全体理事会を通じながら、内容を企画し、数ヶ月前にご案内発送の予定です。期待している卒業生も多いことから、住所変更等で不通の場合もありますので、卒業生相互に声を掛け合い、今から予定に組み入れてください。特に今回は、これまでご支援ご協力をいただいた関係者の皆さんへの感謝を込めて、「創立45周年記念誌」（仮称）の制作を進めております。ご期待ください。

2006年　創立30周年記念　鏡割風景

1年生恒例行事「ステイマナー宿泊研修」を実施
～ 宿泊研修で本物のサービスを体験 ～

昼・夜間部１年生を対象とした「ステイマナー宿泊研修」を６月 10 日～ 12 日の期間に実施しました。

この研修は、昼間部で２泊３日、また夜間部で１泊２日の日程で学生自らがホテルに宿泊しながら、現場で活躍しているホテルスタッフからサービス実務を学びます。

今年度、昼間部は横浜ベイホテル東急、夜間部はホテルマウント富士、ハイランドリゾートホテル＆スパにて実施しました。学生は現場のプロのサービスを受けながら食事やパーティを体験するとともに、学生自身が役柄を演じる本番さながらの模擬結婚披露宴、客室におけるベッドメイキング、テーブルセッティングに至るまで「ホテル」を利用客とスタッフ双方の視点から実感します。

約300名による模擬披露宴

ホテルスタッフの方々からサービスを学ぶ

クラスの仲間をお客様に見立てて
コース料理を取り分ける学生

模擬披露宴風景

実演を交えてベッドメイクの方法を学ぶ

外国人留学生バスツアーを実施
～ 留学生18名、教職員11名が参加 ～

昼食はもんじゃ焼

毎年恒例の外国人留学生バスツアーを６月 20 日に実施しました。

中国、韓国、台湾、ベトナムからの留学生 18 名と教職員 11 名の総勢 29 名が参加し「古き良き江戸情緒の残る東京下町観光」を楽しみました。

昼食は月島の「いろは　西仲店」でもんじゃ焼きとお好み焼き、にぎやかなランチタイムの後は、「江戸風鈴　篠原風鈴本舗」へ移動し風鈴作りを初体験、風鈴に思い思いの絵を描きました。

このバスツアーは外国人留学生に少しでも早く学校に慣れてもらうために留学生支援委員会が主催しています。

江戸風鈴　篠原風鈴本舗前で

風鈴に絵付けに挑戦

サークル活動＝野球部
～ 秋季東京都専門学校軟式野球大会3位入賞 ～

第 40 回秋季東京都専門学校軟式野球大会が 10 月 6 日から 10 月 26 日の期間に開催されました。

本校は予選リーグを勝ち抜き、決勝トーナメント準決勝に進出しました。惜しくも準決勝で敗れましたが、3 位に入賞しました。

秋季大会は、参加 40 校の内、シード校 20 校を 1 部リーグに、その他は 2 部リーグとして、各ブロックの 2 位までが決勝トーナメントを行いました。

本校の野球部は 2 部リーグながら、予選リーグ 2 試合にコールド勝ちし、同ブロックの新宿調理師専門学校とともに決勝リーグに進み、準々決勝に勝利し 3 位入賞を果たしました。

大会役員、審判員の方々からはフェアプレーに溢れ、ホスピタリティマインドを感じるチームとの評価をいただきました。

2014年度　海外ホテル研修生制度修了式を実施
～ 12名が研修を修了 ～

2014 年度海外ホテル研修生制度修了式を 7 月 15 日に実施しました。

鎌田 萌さん、佐野 彩芽さん、乙部 彩佳さん、鈴木 太一朗さん

昨年度、海外研修生制度を修了した研修生は、アメリカホテル研修生制度 5 名、スイスホテル研修生 3 名、シャングリ・ラ ホテル研修生 4 名の計 12 名が、無事に 1 年間の海外ホテル研修を修了しました。フィリピンホテル研修生として渡航した 3 名の研修生については、研修期間が 11 月まで続きます。

修了式では、武内副校長より海外研修で培ったものを次のステップとして活かしてもらいたいとお話いただきました。また、シャングリ・ラ ホテル研修生である佐野彩芽さんが研修生代表として、海外のホテルで働くことの苦労や日本人のお客様を対応する大変さ、その反面楽しいことやお客様から頂く感謝の言葉が研修を継続する糧になっていることなど、研修を振り返り代表の挨拶を行いました。

顧問の川辺先生と野球部員

元ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カシパニー 日本支社長
高野 登 氏（本校 第一期生）と

英語専攻科によるボランティア活動
～第9回 レ･クレドール アジアンコングレス～

2015 年 8 月 24 日～ 26 日の期間中、ザ・プリンス パークタワー東京にて「第 9 回 レ・クレドール アジアンコングレス」が行われました。

アジアンコングレスとは、2 年に一度、世界中のコンシェルジュがアジアに一堂に集まり、お互いの親交を深め、情報交換や、勉強会などを実施する集いです。

初めての開催国である日本のレ・クレドールジャパンおよびコンシェルジュ協会のメンバーが中心となり、世界各国 の約 150 名のコンシェルジュを「おもてなし」しましたが、そのアジアンコングレスに日本ホテルスクール 昼間部英語専攻科 2 年生の学生 28 名がボランティアとしてサポートしました。

成田空港で到着したコンシェルジュの
お出迎えをする日本ホテルスクール生

バス観光案内をする学生

レ・クレドール

レ・クレドールとは、1929 年にパリの 11 人のホテルコンシェルジュによって発足されたホテルコンシェルジュのネットワーク組織です。

現在､44 の国と地域､約 3,500 名（2013 年 4 月現在）の会員により構成されています。レ・クレドールに入会するには正会員からの推薦・面接をクリアする必要があり、日本支部である「レ・クレドール・ジャパン」には、現在 2 名の名誉会員、25 名の正会員が在籍しています。

ブライダル科授業紹介

模擬挙式制作発表会を実施

ブライダル科２年生による｢模擬挙式制作発表会｣を７月 16 日に実施しました。

この模擬挙式制作は､学生達が自由に人前式の｢テーマ｣を設定し､それに合った音響や照明操作、映像・装飾・ペーパーアイテム・演出をそれぞれ役割分担し､発表に向けて作っていくというものです。

今回の最終発表クラスのテーマは｢由比ヶ浜ウエディング｣。青くボンヤリと照明で光らせたバージンロードに､実際に海から拾ってきた貝殻を散りばめ波打ち際を演出。そこに白いタキシードとウエディングドレスをまとった新郎新婦が入場し､列席の皆さんから結婚の承認を受けるスタイルのものでした。

見学した先生方から自分達がこだわった部分はあまり評価されなかった反面、スタッフの笑顔と行動が「迎え入れの気持ちが伝わって気持ち良い」と高評価を頂き､｢制作側｣と｢お客様｣の視点・こだわりの違いなども感じたようでした。

発表後の集合写真

チームで動くブライダルの仕事に就く上で、さまざまな視点が培われた発表会となりました。

和装着付けを学ぶ

ブライダル科２年生では、和装の着付けを学びます。

前期７回の授業を通して、ゆかたの丈の調整や帯の締め方など指導を受けながら、学生同士が着付けをし合い、最終的に１人で着られる事を目的としています。

ゆかたを着るのが初めてという学生も、洋服と違い、いくつもの小物を使っての着付けや聞いたことのない部位名称に戸惑いながらも真剣に取り組み、最後には全員着付けテストに合格できました。

結婚式では花嫁の人気衣装であり、日本の文化である和装。日本の結婚式の良さを伝えられるブライダルコーディネーターに一歩近づけました。

卒業生による特別授業を実施
～『サービスマンのあり方』山下将士氏 1998 年卒業～

昼間部と夜間部のホスピタリティ実務の授業で卒業生山下将士さん（1998 年卒業）による特別授業を 10 月 14 日に実施しました。

山下さんは本校を 1998 年に卒業後、海外ホテル研修生制度のひとつ、スイスホテル研修生制度の研修生として 1 年間の勤務を終えた後、独力でイタリアへ赴き有名店で修業を積み、その後、イタリア語の習得以外にイタリアの国家資格ソムリエを取得、さらにレストランの支配人として計 16 年間のイタリア生活を送り今年帰国しました。

イタリアのお客さまへのサービス実演

山下将士さん
（1998 年卒業）

学生からの質問に答える山下さん

山下さんは、 日本人が本場ヨーロッパのレストランでヨーロッパのお客さまをもてなすとともに、 マネージャーとしてヨーロッパ人を管理・指導するなど様々な体験をホスピタリティ実務の授業で、 その熱い気持ちを後輩たちに伝えてくださり、 世界に旅立って挑戦したいという在校生にとっては大きな刺激となったようです。

スイス　グリオン大学に編入した学生が来校
～長久華織さん　2014年卒業～

長久華織さん

本校の海外大学編入制度を利用して、スイスのグリオン大学に編入学した長久華織さんが、インターンシップを終え日本に一時帰国し、学校に挨拶に来てくれました。

本校在学中に、学校の海外留学制度を利用してカナダに１年間留学した経験を持つ長久さん。留学から戻ってきた後も「もっと学びたい。海外の大学に行きたい」という気持ちが募り、卒業後の留学（海外大学編入）を決めました。

海外編入制度についての詳細は
http://www.jhs.ac.jp/abroad/advance.php

スイス　グリオン大学（Glion Institute ）

40 年以上の歴史を持つグリオン大学は、モントルーの町を見下ろす場所にあり、レマン湖とアルプスの山々に囲まれた自然豊かな環境です。毎年、70 カ国以上からの留学生を含む 1,200 人の新入生を受け入れています。キャンパス（Glion/Bulle）はスイス国内に２つあり、インターンシップを含めた充実したカリキュラムを実施しています。

本校には、卒業後に海外の大学に編入できる制度があります。日本で専門士の称号を取得し、その後、単位互換により海外の大学３年次に編入。２年間の学業を経て学士号が取得できます。海外への進学は、日本人としてのアイデンティティや自分自身を再発見し、ホスピタリティの本質を学ぶ機会になります

海外からの訪問者

フィリピン・UPH大学スタディツアーグループ
～本校学生と交流～

集合写真

本校の大学編入提携校の一つ、フィリピンの University of Perpetual Help System Dalta（UPH）、International Hospitality Management & Tourism 学科在籍の学生 26 名と大学関係者 4 名が 10 月 1 日に来校しました。

5 日間の『日本スタディ・ツアー』で日本を訪問した学生達は、日本文化体験の一環として本校にて、和食講座や和食を体験しました。

和食講座では、日本食についての知識を深く知ることができ、講座終了後には、受講した学生に石塚理事長より修了書が手渡されました。

その後、12 月に実施される第 53 回技能五輪全国大会出場予定の寺島唯斗君がオレンジ、キウイ、パイナップルのカービング&カッティングを披露し、会場を盛り上げました。

昨年度に引き続き、今年度の昼間部、夜間部1年生の海外研修旅行も UPH 大学の全面的な協力のもと、夜間部は 12 月上旬、昼間部は 1 月中旬にフィリピンを訪問し、UPH 大学の学生との交流やマニラ市内のホテル見学など、ともに学ぶプログラムの実施を通じて交流を深めます。

浴衣で来校を歓迎した学生、石塚理事長（左）、アンチポータ学部長（左から 3 番目）、メンドーサ先生（右から 2 番目）

和食講座修了証書を手にする UPH 学生

UPH の学生と交流を深める YSCJ メンバー

カービングを披露する寺島君

モンゴル国・ウランバートル市長

本校の学生が学校行事の一環として参加する「ツーリズム EXPO ジャパン 2015」（主催：公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会）」へ出席するため来日中であったモンゴル国の首都であるウランバートル市の BAT－UUL Erdene 市長（首都知事）、同 ENKHTSENGEL Tseyen 副市長並びに同市観光局長を含む関係者 5 名が来校しました。

日本政府は 2015 年 8 月 10 日から、モンゴル国民の一般旅券所持者に対して、短期滞在数次ビザの発給を開始しています。

今後、両国相互の旅行客の増加が見込まれることなどから、ウランバートル市内のホテル施設などでの外国人旅行客の受け入れ態勢を充実させる必要があり、ホテリエなど人材育成に関する意見交換と日本における代表的なホテル学校の視察のため来校したものです。

左から 4 番目　BAT－UUL Erdene ウランバートル市長（首都知事）

フィリピン・The Bellevue Hotels & Resorts 関係者

本校の海外研修制度“ フィリピンホテル研修 ”派遣先である The Bellevue Hotels & Resorts の関係者 Mr. John Dustin（Managing Director）と一ノ宮由美さん（日本人営業マネージャー）が 6 月 26 日に来校し、2014 年 11 月から始まったフィリピンホテル研修生制度で活躍中の 3 名の研修生についての報告を受けました。

研修生 3 名の活躍が評価され、来年度以降も継続して同ホテルでの研修派遣が決まっています。

フィリピンホテル研修生制度は、同ホテルでの 6 か月間の研修、さらに The Bellevue Resort, Bohol で 6 か月間の研修プログラムとなっており、1 年間でシティホテルとリゾートホテルの両方を経験できる充実した制度になっています。

前列左より、出張氏、Mr. John Dustin、石塚校長
後列左より、川上副校長、江口先生、一ノ宮氏

～ＪＨＳ同窓会便り～

2015年度　JHS同窓会理事会を開催
～同窓会理事、東京本部役員、学校関係者が集う～

石塚校長と同窓会役員の皆様

第 1 期から第 42 期卒業生の同窓会理事、東京本部役員並びに学校関係者が集い、7 月 31 日にホテルメトロポリタンエドモント「千鳥」で 2015 年度 JHS 同窓会理事会を開催しました。

同窓会理事会では、2014 年度事業報告・収支決算報告、2015 年度事業計画・収支予算、そして同窓会活動の報告を行い、全ての議案について満場一致で承認されました。

2016 年に本校は学校創立 45 周年を迎え、創立 45 周年を記念して学校「45 年史」（仮称）の製作、ならびに 2016 年 11 月 11 日（金）グランドプリンスホテル新高輪での開催が決定している創立 45 周年記念同窓会への協力を要請しました。

理事会終了後は、理事、東京本部役員、学校関係者による懇親会が行われ親睦を深めるとともに、より一層の協力体制を確認しました。

会議風景

会議に参加した同窓会理事

参加者の皆様

第20回ソムリエクラブ　つきぢ田村で開催
～日本料理や日本酒を学ぶ～

三代目ご主人　田村隆氏の日本料理講座

第 20 回 JHS ソムリエクラブの会合を 7 月 28 日に開催、23 名が参加しました。発足から 10 年、記念すべき 20 回目の今回は、本格的な和食と日本酒、ワインの調和をテーマに、日本料理の名店「つきぢ田村」で実施しました。

当日は三代目ご主人の田村隆様から日本料理の出汁の取り方や、包丁さばきなどを実演、教授いただきました。和食が世界無形文化遺産に登録されて、国内外で注目が集まる昨今、ソムリエも日本料理や日本酒について幅広く学び、文化を継承していく役割を感じるとともに、つきぢ田村の心と味、五味調和を堪能する有意義な会となりました。

つきぢ田村店舗前にて記念撮影

日本酒で乾杯

■ソムリエクラブに関するお問い合わせ
担当：川上　TEL:03-3360-8231　kawakami@jhs.ac.jp

過去10年間のソムリエクラブ活動実績

	開催年	開催会場
第 1 回	2005 年	レストラン ラ・トゥーエル（神楽坂）
第 2 回	2006 年	レストラン ダズル（銀座）
第 3 回	2007 年	専門学校日本ホテルスクール（東中野）
第 4 回	2007 年	リッツカールトン東京 フォーティーファイブ（六本木）
第 5 回	2008 年	ヒルトン東京・トゥエンティワン（新宿）
第 6 回	2008 年	BVLGARI・イル リストランテ（銀座）
第 7 回	2009 年	キャーヴ・ド ひらまつ（西麻布）
第 8 回	2009 年	ラトラス（神楽坂）
第 9 回	2010 年	TWO ROOMS（青山）
第 10 回	2010 年	レストラン「ジョエル・ロブション」（恵比寿）
第 11 回	2011 年	レストラン「タテルヨシノ」（銀座）
第 12 回	2011 年	レストラン　ヴィノーブル　カフェ（高田馬場）
第 13 回	2012 年	ホテルニューオータニ レストラン「トゥールダルジャン」（紀尾井町）
第 14 回	2012 年	パレスホテル東京（丸の内）
第 15 回	2013 年	東京ステーションホテル（丸の内）
第 16 回	2013 年	ザ・クレッセント（新橋）
第 17 回	2014 年	コンラッド東京（新橋）
第 18 回	2014 年	東京マリオットホテル（品川）
第 19 回	2015 年	アンダーズ 東京（虎ノ門）
第 20 回	2015 年	つきぢ田村（築地）

第44回JHS同窓大学・北海道を開催
～卒業生・同窓会関係者計18名が参加～

JHS 同窓大学・北海道を 7 月 11 日～ 13 日の日程で開催し、北海道エリアで活躍中の卒業生と九州支部、中国支部、同窓会関係者計 18 名が参加しました。

小樽での勉強会は、金森啓示氏（1978 年卒業）が九州における中国人観光客の動向をテーマに講義を行いました。北海道、九州とも訪日外国人誘致には積極的であるため、北海道の魅力、優位性などについても活発な意見交換、勉強会となりました。また、石塚勉校長からは海外の IR（カジノを含む統合型リゾート施設）に関する講義もあり、日本国内の事情と照らし合わせた可能性についても話し合いを持ちました。

今回の同窓大学は 2016 年 11 月 11 日に実施予定の創立 45 周年同窓会開催に向けた各支部意見交換の目的もあり九州、中国支部の 3 名も参加しました。

同窓大学・北海道参加者の皆様

◆◆◆　同窓会事務局から住所変更手続きのご案内　◆◆◆

JHS ホームページ「卒業生の皆様」で住所変更が可能になりました。

財団ニュース

日本旅館国際女将会
～ 世界のホスピタリティ体験シリーズ　第5回　ニュージーランドスタディ・ツアーを実施 ～

日本旅館国際女将会は、一般財団法人日本ホテル教育センター、専門学校日本ホテルスクール（理事長＝石塚勉）支援、協力の下、4泊6日の日程で第5回目の世界のホスピタリテイ体験シリーズ：ニュージーランド研修旅行を9月8日～13日に実施し9名が参加しました。

今回は、ニュージーランド（クイーンズタウン～ロトルア～ワイトモ～オークランドの日程）で実施しました。南島のクイーンズタウンでは、ミルフォードサウンド／フィヨルドクルーズ又は市内観光、北島を代表する観光地のロトルアでは、ロトルア観光協議会オスカー・ネイサン総局長、およびパトリック・ダウルト部長と会食、意見交換の後、スカイライン・ロトルアが自然環境保全を目的に主催する「植樹プログラム」に参加し、デイビット・ブラックモアー広報部長の案内でコーハイの木（ニュージーランドの国花、国木）を植樹しました。

スカイライン・ロトルアの植樹プログラムに協力、コーハイ（国花、国木）を植樹

ロトルア観光協議会総局長及び部長と意見交換

クイーンズランドの滞在ホテル、ミルブルック・リゾートで夕食

また現地の大きな観光資源である「羊の毛刈りと牧羊犬のショー」、「国鳥キーウイ」、「原住民によるマオリショー」、ワイトモ洞窟では見事な鍾乳石や石筍、土ボタルを見学、そして「伝統料理ハンギ料理」、複合温泉施設の「ポリネシアンスパ」などを体験しました。

何れもニュージーランド固有の自然環境や伝統を生かした観光資源が旅行者を魅了しています。一行は、これらの多くの観光資源の一部を体験することができました。

日中観光文化交流団に参加
～ 北京・人民大会堂へ日本全国から3,000名が集合 ～

中央左　二階俊博自民党総務会長
中央右　習近平中国国家主席

5月23日、中国　北京・人民大会堂において中国政府が「日中観光交流の夕べ」を開催。日本側から約3,000名の訪中団が派遣され、観光、自治体、経済、文化など幅広い関係者が一堂に会しました。当財団からも、理事長 石塚勉・事務局長 黒須健二朗・理事長補佐 黒沢由美子・事業本部教育事業室 室長 藤原弘一の4名が参加しました。

日中間ではAPECにおいて首脳会談が開催され、観光分野においても2014年11月に上海で開催された太田昭宏国土交通大臣と李金早中国国家旅遊局長の会談において、2015年から2016年の2年間に日中双方の交流拡大に向けた取組を具現化していくことが合意されました。

このような政府レベルの動きを受け、観光交流復活の気運を盛り上げ、継続的展開につなげるために、中国政府の全面的協力の下、約3,000名の大型訪中団が派遣されました。

人民大会堂に日本全国から3,000名が集合

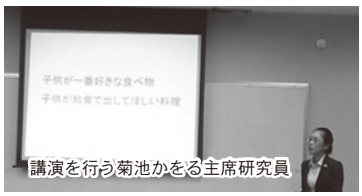
食育ボランティア養成講座で講演
～ 菊池かをる主席研究員 ～

菊池かをる研究員

10月1日、東京都町田市保健所中町庁舎において、町田市の保健衛生事業の一環で開催されている食育ボランティア養成講座の第5回の講座として、主席研究員の菊池かをるが30名を超える参加者を前に「和食文化と行事食」をテーマに講演を行いました。

講演では、和食は日本人が1000年以上続けてきた食事様式であることや、和食と深い関係を持つ暦と二十四節気、箸の文化、そして、季節的なトピックスとして正月と料理の関係、お節料理の意味などを2時間にわたり図解を入れながら解説しました。

また、参加者の皆様から沢山の質問があり、食育における「和食」への関心の高さをうかがうことができました。


講演を行う菊池かをる主席研究員

検定事業部から検定試験日程のお知らせ

ホテルビジネス実務検定

■試験日：2016年3月19日（土）
■申込み受付：2016年1月21日（木）～
2016年2月22日（月）
■お問合せ：検定本部　TEL：03-3367-5663　藤原
http://www.jec-jp.org/hken/

和食検定

■試験日：2016年2月27日（土）
■申込み受付：2015年11月27日（金）～
2016年1月20日（ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ）
2016年1月27日（郵送）
■お問合せ：検定本部　TEL：03-3367-5663　菊池
http://www.washokukentei.jp/

検定テキストのご案内

和食検定入門編
3,600円（税別）
和食検定基本編
和食検定実務編
各5,000円（税別）

ホテルビジネス基礎編
ホテルビジネス管理編
各5,000円（税別）

販売：株式会社プラザ出版
TEL：03-5937-4321 FAX：03-5937-4328

編集責任者：石塚　勉
編集担当：黒沢由美子
連絡先：03-3360-8231　kurosawa@jhs.ac.jp